

「転換期の中国経済と日中産業連携」

これまで高成長を続けてきた中国経済は近年成長率が鈍化し、2011年以降、鉄鋼・石炭など重化学工業では需給ギャップが深刻化している。このため、現在中国では成長エンジンを生産性の向上に切り替えていくという経済発展パターンの転換と、そのための産業構造の調整が求められている。

本シンポジウムでは、中国国家発展改革委員会などの中国の研究グループとの共同調査、研究を元に、中国経済転換期における産業構造変化・グレードアップの最新の動きや特徴、日中連携の可能性を検討することを通じて、中国の経済パターン・産業構造の新たな転換に伴う供給側改革・産業高度化に関する最新の動き、及びそれに伴う日中の経済関係の新たな展開の方向性を提示・発信してゆきたい。

【日時】2017年3月2日（木）（12:30 開場）

13:00-18:00 シンポジウム

参加費無料

18:00-19:30 懇親会

参加費2,000円

【場所】帝京大学霞が関キャンパス 東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー9階

地図と交通アクセス：<https://www.teikyo-u.ac.jp/access/kasumigaseki.html>

プログラム

13:05~13:10 開会挨拶 帝京大学理事長・学長 冲永 佳史

13:10~13:40 講演① 帝京大学経済学部教授 郭 四志

「中国経済の転換について」

13:40~14:10 講演② 中国国家発展改革委員会 産業経済と技術経済研究所主任 傅 保宗

「新常態」下の中国工業構造の調整と供給側の改革」

14:10~14:40 講演③ 東京大学 社会科学研究所教授 丸川 知雄

「資本・技術集約型へ転換する中国の製造業」

14:40~15:10 講演④ 中国社会科学院 工業経済研究所教授 趙 英

「中国産業のグレードアップとイノベーション」

15:10~15:25 休憩

15:25~15:55 講演⑤ 帝京大学経済学部準教授 堀内 英次

「日本の産業政策と産業構造の転換について」

15:55~16:25 講演⑥ 帝京大学経済学部教授 長田 博

「日本の産業構造と消費構造の変化」

16:25~17:25 講演⑦ 中国吉林大学北東アジアセンター教授・副センター長 趙 儒煜

「中国産業の競争力と日中産業比較」

17:25~17:55 講演⑧ 名古屋外国語大学教授（前ジェトロ北京事務所次長） 真家 陽一

「日中産業の補完と日中企業の連携」

17:55~18:00 閉会挨拶 帝京大学経済学部長 廣田 功

18:00~19:30 懇親会

※日本語と中国語の同時通訳付き

参加 登録

- ▷ 参加の申し込み（定員100名）は2月28日までに氏名、所属、メールアドレスおよび懇親会参加の有無を事務局（horiuchi@main.teikyo-u.ac.jp）までお知らせください。
- ▷ 問い合わせ先：帝京大学経済学部 堀内英次 Tel/Fax 042-678-3370